

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分
 【発行日】令和 1 年 9 月 5 日 (2019.9.5)

【公開番号】特開 2018-85869 (P2018-85869A)
 【公開日】平成 30 年 5 月 31 日 (2018.5.31)
 【年通号数】公開・登録公報 2018-020
 【出願番号】特願 2016-228470 (P2016-228470)
 【国際特許分類】

H 0 2 B 1/56 (2006.01)

H 0 5 K 7/20 (2006.01)

【F I】

H 0 2 B 1/56 A

H 0 5 K 7/20 G

【手続補正書】
 【提出日】令和 1 年 7 月 24 日 (2019.7.24)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項 1】

閉鎖形機器の外殻を形成する筐体の天板を貫通するように形成された開口縁部と、底板部及びその底板部の周囲を上方向に伸ばした側壁部を有して形成され、前記側壁部の上端部周囲が前記開口縁部に沿って接続されて前記天板に凹部を形成し、その凹部の前記側壁部に複数の通風口を設けた通風部材と、を備えたことを特徴とする閉鎖形機器の換気装置。

【請求項 2】

前記通風部材は、前記天板の下部における内部機器との絶縁距離寸法または外縁端末寸法の制約を受けないデッドスペースに配置されたことを特徴とする請求項 1 記載の閉鎖形機器の換気装置。

【請求項 3】

前記通風口は異物の進入を抑制するルーバー状の切り起こしによって形成されていることを特徴とする請求項 1 または請求項 2 記載の閉鎖形機器の換気装置。

【請求項 4】

前記底板部の面積を、前記開口縁部によって形成される開口面積よりも大きくしたことを特徴とする請求項 1 から請求項 3 の何れか 1 項に記載の閉鎖形機器の換気装置。

【請求項 5】

前記底板部の中央部は、該底板部の周囲部よりも低くなるように凹ませてなることを特徴とする請求項 1 から請求項 4 の何れか 1 項に記載の閉鎖形機器の換気装置。

【請求項 6】

前記天板の開口縁部と前記通風部材によって形成された前記凹部は、仕切板によって周方向に複数の区画に区分されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 5 の何れか 1 項に記載の閉鎖形機器の換気装置。

【請求項 7】

前記天板の開口縁部の形状は正方形又は、長方形又は、円形又は、多角形に形成されていることを特徴とする請求項 1 から請求項 6 の何れか 1 項に記載の閉鎖形機器の換気装置。